

# やまびこ

発行日：平成 27 年 7 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

## 平成27年度 第1回NST研修会

### 平成27年度 第1回NST研修会目的

NST 委員会は、患者に対してエビデンスに基づいた効率の良い栄養管理を実施することにより、病気からの早期回復、合併症の予防、生活の質の改善をはかることを目的としており、退院後も引き続き栄養管理を実施することで、病気の再発予防や悪化を防ぐことができると考え、院内、院外向けの勉強会を年3回開催しています。

今回は臨床栄養学の基礎を学ぶため、椋山女学園大学生生活科学部 加藤昌彦先生に来ていただき講演していただきました。



### 臨床栄養の基礎の基礎 part 2

#### ～栄養素の消化・吸収と栄養補給法～

平成27年6月12日（金）

椋山女学園大学生生活科学部教授 加藤 昌彦 先生

私たち人間は、絶えず外から栄養素を取り込まなければ生きられません。健康な人は、食事を摂ることで栄養素を体内に取り込みますが、患者さんのなかには、食べられない方が少なくありません。そのような場合は、直接、血管中にチューブを挿入し栄養素を補給する静脈栄養法（いわゆる点滴）、あるいは鼻などからチューブを挿入し、流動物を流し込む栄養補給（経腸栄養法と呼びます）を行います。

本講演では、経腸栄養法に用いられる流動物（経腸栄養剤）をメインテーマに取り上げました。経腸栄養剤は、自然界に存在する食物（はちみつ、粉飴など）を原材料として流動化した天然濃厚流動食と、原材料を科学的に合成した人工濃厚流動食に分けられます。さらに、人工濃厚流動食は、消化態栄養剤と半消化態栄養剤に分かれます。これら名前から、そこに含まれる栄養素全てが完全に消化されていて、あとは小腸で吸収するだけの消化態栄養剤、一方、半分は消化されているけれど、残り半分は自らの胃や腸で消化し、吸収しなければならない半消化態栄養剤が頭に浮かぶようですが・・・。

実は、消化態栄養剤といえども、浸透圧を異常に高くしない（浸透圧が高いと下痢を生じやすい）ために、栄養素全てが完全に消化された形にはなっていないのです。こうした製剤の特徴をきちんと理解し、患者さんの病状をよく把握して、最も適した経腸栄養剤を選択することが患者さんの QOL（生活の質）向上につながります。

### 目次

- |                                |                                 |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ● 平成27年度 第1回NST研修会 …………… 1     | ● 新任研修医の紹介 …………… 5.6            |
| ● 救急勉強会の開催について …………… 2         | ● 退任医師 …………… 6                  |
| ● 第25回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー 報告 …… 2 | ● 研修・講演・勉強会のご案内 …………… 6         |
| ● 診療科の紹介 …………… 3.4             | ● 平成27年度 第1回地域医療連携検討委員会の報告 …… 6 |
| ● 新任医師の紹介 …………… 5              | ● 編集後記 …………… 6                  |

## 救急勉強会の開催について

救急部長 加藤 雅康

月に1回、主に第3または第4木曜日の18時より約1時間、3階講堂にて救急勉強会を行っています。当院の医師、看護師、その他の職員、救急隊のみならず、当院以外の先生や看護師さんにも参加していただいています。

勉強会の内容は、救命センターの医師と看護師が相談し、興味のあるものを選んでいきます。外傷や心臓疾患など、救急外来でよく診る病態、治療について専門の医師に話をしてもらうこともあります。疾患の勉強だけでなく、久美愛病院の看護師さんや飛騨市民病院の先生に、その病院の救急事情をお話していただくこともありました。その他、患者さんやその家族とのコミュニケーションを考える医療面接や、家族看護などについても取り上げています。

今年の5月28日(木)には、消化器内科の今井医師により消化器疾患の話をしてもらいました。なぜ、腹痛は夜に起こるのか? 消化器疾患に関して、救急外来で気をつけるべきことなどを楽しく、分かりやすく説明してもらいました。

今後も飛騨地域の救急医療向上のため、救急に関わる様々な内容を取り上げていきたいと考えています。勉強会はどなたでも参加いただけますので、興味のある内容の場合は、ぜひご参加いただきご意見などいただければ幸いです。



(勉強会ポスター)

## 第25回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー 報告

平成27年6月6日(土)

糖尿病看護認定看護師 芥川 かおり

今年の一般演題は、看護分野の発表が多くありました。JA岐阜厚生連 久美愛厚生病院「治療中断を繰り返す患者への支援を考える」倫理の面から患者への支援の振り返りを行い、支援のあり方を考えました。土岐市立総合病院「セルフケア能力の期待値を超えた症例について」他職種が関わり患者を支えることで、患者のセルフケア行動が大きく変わった報告でした。下呂市立金山病院「当院におけるフットケア外来の現状について」フットケア開設1年間の状況や支援の振り返りの報告でした。また、飛騨地域では、昨年CDE岐阜の研修を行い、認定試験を30名が受験、全員が合格しました。今後、CDE岐阜有資格者が地域の糖尿病医療を支えていくこととなります。

特別講演は、富山県砺波市 大沢内科クリニック 院長 大沢謙三先生による「1型糖尿病をささえる」でした。富山小児サマーキャンプの活動を中心に、1型糖尿病の治療やセルフケア行動継続の為に支援方法などをお話しされました。



1型糖尿病の治療は、その人のライフステージを踏まえた治療や支援が必要であり、患者の声を聞きながら、日々、寄り添っていくことが大切であり、大変であることを語られました。1型糖尿病の治療や支援方法を考える良い機会となりました。

来年度からは、「ひだ糖尿病メディカルセミナー」と名前を一新し、新たに会を進めていきます。是非、皆さま、御参加下さい。

# 診療科の紹介

## その1 皮膚科

皮膚科部長 市橋 直樹

### 1. 診療体制

皮膚科は、休診日は特になく、平日午前中・月水金の2時半から4時までの受付時間で、診療をさせていただいております。

高山赤十字病院の皮膚科は、常勤医が1人しかおりません。この点では、初診時から一貫して同じ医師が診察に当たりますので、経過がわかりやすい・話が食い違わないといったいい点が上げられますが、診断や治療について思い込みが生じていないか不安になる症例もあり、これに対しては、岐阜大学や木沢記念病院、富山市民病院や富山県立中央病院などと連携をとらせていただきながら、診察させていただいております。

### 2. 病院としての特徴

必要な場合はCTやMRIなど、病院でしか行えない検査をさせていただいたり、他科の医師と相談をさせていただきながら、診断を決定させていただいております。また、帯状疱疹などでは、診断がはっきりしていても、薬の量を決めるのに血液検査が必要な場合があり、当院ですと採血後1時間くらいで結果が出ますので、正確な対応が可能です。また、入院が必要なときも対応させていただいております。

### 3. 新しい検査と薬

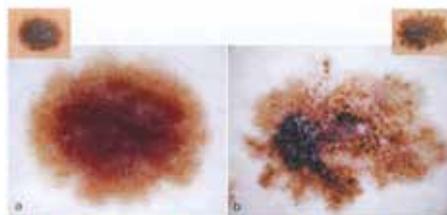
他の科に比べると診療の対象となる部位が目に見える皮膚だという点で、内視鏡を使用したような新しい検査は、皮膚科ではなかなか登場しません。しかし、以前は大学病院などでしか検査できなかった水疱症（全身の皮膚に水ぶくれを作る病気）の自己抗体の検査・ダーモスコピーを用いた皮膚腫瘍の診断など、可能な範囲で新しい検査を日常診療に取り入れております。また、分子標的治療薬と

いった他の科で悪性腫瘍に頻繁に使用されるようになった薬の皮膚に出る特徴的な副作用や、爪白癬やニキビの新しい薬なども、可能な範囲で対応させていただいております。



① 代表的なダーモスコピー（ダーモスコピー用機器）  
① Dermis W300、② 平山タ 18 ダーモスコピー、③ エグザイト、④ Dermitec 9 Head、⑤ Dermitec DS-100、⑥ 平山タ 200 ダーモスコピー、⑦ エコ 3000  
ダーモスコピー  
下図の図は各機種を点灯した状態の写真を、光源の質と光量の違いが分かる。

（必携ダーモスコピー 金原出版）



② 段階診断法の第2段階における母斑と悪性黒色腫の判別  
ダーモスコピーで認識される構造所見と色調について多様性、対称性、配列の秩序性などを評価する。①は Clark 母斑、②は悪性黒色腫（表在拡大型）。

# 診療科の紹介

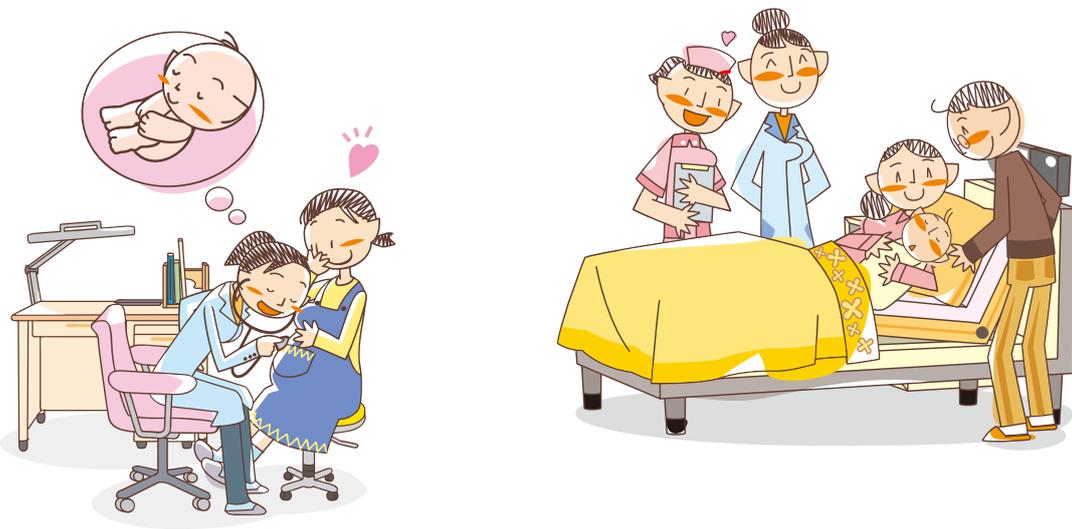
## その2 産婦人科

産婦人科部長 脇田 勝次

高山赤十字病院は、大正11年11月1日に日本赤十字社岐阜支部斐太療院として内科と外科の診療が始まりました。そして8年後の昭和5年3月10日には、3番目の診療科として産婦人科が開設されました。以後85年間にわたり、多数の産婦人科医師と助産師・看護師等により当科の歴史が作られてきました。

さて、7月1日現在の診療体制は、医師5名で内訳は産婦人科専門医2名と後期研修医3名です(ただ、8月以降は1~2名減員となります)。診療内容は、産科においては妊婦健診、分娩、1ヶ月検診が主体です。そして平成19年12月に開設された助産外来でも、助産師による正常な妊婦に対する妊婦健診を行っています。ここでは、一人の妊婦に対する診療時間枠が30分であり、妊娠中の生活や分娩に対する不安事項等に対してゆっくり丁寧に説明し、妊婦との信頼関係を築いています。また、付随施設の母乳外来は昭和56年に開設され、分娩直後から断乳までの1年半にわたり、乳房マッサージを通して母乳哺育の大切さを啓蒙しています。当科で分娩された褥婦のみならず、他院で分娩された褥婦も可能な限り受け入れています。さらに、平成20年2月には「岐阜県地域周産期母子医療センター」にも認定され、小児科と連携して患者の受け入れを行っています。婦人科は感染症や更年期障害等の良性疾患から癌などの悪性疾患まで幅広く診療しています。具体的には、良性疾患では子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍等の良性腫瘍と更年期の頭痛や肩こり等の不定愁訴、膣炎、膀胱炎、骨盤腹膜炎等の感染症、さらには月経前症候群や不妊症も対象となります。悪性疾患は、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌が主体です。最近では、更年期以降における卵巣子宮内膜症からの卵巣癌の発生頻度の増加と、後期高齢者の卵巣癌および進行子宮癌(特に子宮体癌)の増加が特筆されます。また、当院健診センターの子宮頸癌検診を当科の診療開始前に毎朝行っています。

今後も高次医療機関との連携を保ちつつ、可能な限り当院で医療が完結することを目指して日々精勤していきたいと思っております。



# 新任医師の紹介

- 1 診療科・職名
- 2 氏名
- 3 専門分野
- 4 専門医・認定医
- 5 診療に対するモットー & 自己紹介 など



5月に1名、7月に1名の医師が赴任しましたので、ご紹介致します。



- 1 循環器内科
- 2 畑佐 匡紀 (はたさ まさのり)
- 3 循環器内科
- 4 内科認定医

5 郡上市出身です。  
飛騨の地域医療に少しでも貢献できれば嬉しいです。  
宜しくお願いします。



- 1 泌尿器科副部長
- 2 小島 圭太郎 (こじま けいたろう)
- 3 泌尿器科一般
- 4 泌尿器科学会専門医

5 大雄会病院より来ました小島と申します。高山の医療に貢献できるようがんばりたいと思います。宜しくお願いします。

# 新任研修医の紹介

- 1 出身地
- 2 興味のある分野
- 3 診療に対するモットー & 自己紹介 など



4月に8名の研修医が赴任しましたのでご紹介致します。



- 1 東京都東久留米市
- 2 内科
- 3 岐阜大学から来ました、押田一真です。  
患者さんの立場に立って考えていけるような医者になれるように精進していきたいと思っています。  
宜しくお願いします。

おしだ かずま  
押田 一真



- 1 愛知県知多郡阿久比町
- 2 外科
- 3 いろいろな人との出会いを大切にたくさんのことを学んでいきたいと思っています。よろしくお祈りします!!

かわじり まな  
川尻 真菜



- 1 岐阜県高山市
- 2 呼吸器科、感染症科
- 3 山形大学を卒業し、生まれ育った高山に戻って参りました。2年間の研修を通して、医師としての土台を築くだけでなく、飛騨地域の医療の現状についても学びたいと考えております。よろしくお祈り致します。

くさば ゆうさく  
草場 勇作



- 1 岐阜県高山市
- 2 内科、産婦人科、地域医療
- 3 岐阜大学を卒業し、地元である高山で2年間研修させていただきます。  
元気に、謙虚な姿勢で頑張ります。  
よろしくお祈りします。

たかはら まゆか  
高原 万友香



- 1 岐阜県中津川市
- 2 消化器内科
- 3 岐阜大学を卒業して、4月から高山赤十字病院で研修させていただきます。  
高山で地域に根差した医療を学ぶため、日々、精進していきたいと思っています。至らぬ所は多々ありますが、御指導の程宜しくお願いいたします。

たぐち だいすけ  
田口 大輔



- 1 長野県伊那市
- 2 国際医療、地域医療、外科系
- 3 藤田保健衛生大学を卒業し、今年の4月から当院で研修させていただきます。  
高山の人々の人の良さ、御飯のおいしさ、街並の美しさと、高山という素晴らしい街で研修させていただき、感謝でいっぱい입니다。  
どうぞよろしくお祈り致します。

まえざわ たくま  
前沢 琢磨





いわた じゅり  
岩田 純里

- 1 岐阜県岐阜市
- 2 総合診療科、耳鼻咽喉科
- 3 自治医科大学を卒業し、岐阜に戻ってきました。患者さんとも一緒に働くスタッフの皆さんとも顔の見える関係を築きつつ、自分自身の成長についでいけたらと思っています。よろしくお願いします。



やまさき しほ  
山崎 志穂

- 1 広島県府中市
- 2 歯科口腔外科
- 3 愛知学院大学を卒業して、高山赤十字病院で研修させて頂いています。高山での研修を通して、多くのことを学ばせて頂きたいと思いますが、よろしく願い申し上げます。

## 退任医師

循環器内科副部長 渡邊 崇量 5月15日付 泌尿器科副部長 菅原 崇 6月30日付  
 整形外科副部長 山本 孝敏 6月30日付

## 研修・講演・勉強会のご案内

- ・「第18回 地域連携症例検討会」  
H27年9月16日(水) 19:30より 高山赤十字病院 本館3階 講堂
- ・「第7回がん診療に携わる医師のための飛騨地域緩和ケア研修会」  
H27年10月24日(土)・25日(日) 9:00より 高山赤十字病院 本館3階 講堂  
※詳細は、追ってご案内いたします。

## 平成27年度 第1回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員会を5月13日(水)に開催いたしました。

委員会では紹介率・逆紹介率、地域連携の現状などの業務実績について報告をいたしました。又、村川リハビリテーション科部長より「リハビリテーションについて」の演題でミニレクチャーが行われました。

意見交換では、地域包括ケア病棟、地域医療機関・福祉との連携について委員の方からご意見を頂きました。

## 編集後記

まだ梅雨が明けず雨の多い今日この頃、4月に高山へ来た時よりずっと暖かくなり、花や緑がきらきら輝くいい季節となりました。

初めまして、地域連携課に春より参りました八代と申します。3カ月も経とうとしているのに、なかなか慣れない環境に悪戦苦闘の毎日です。地域の医療機関様と円滑に連携できるよう、がんばります。

医療社会事業部 地域連携課 八代 麻衣



日本赤十字社

高山赤十字病院  
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地  
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165  
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp  
ホームページ http://www.takayama.jrc.or.jp/